

2011年5月26日
JFE物流株式会社

鋼材輸送・一般消費材輸送に併用可能な新型トレーラで共同輸送体制を強化
～一層のCO2削減推進

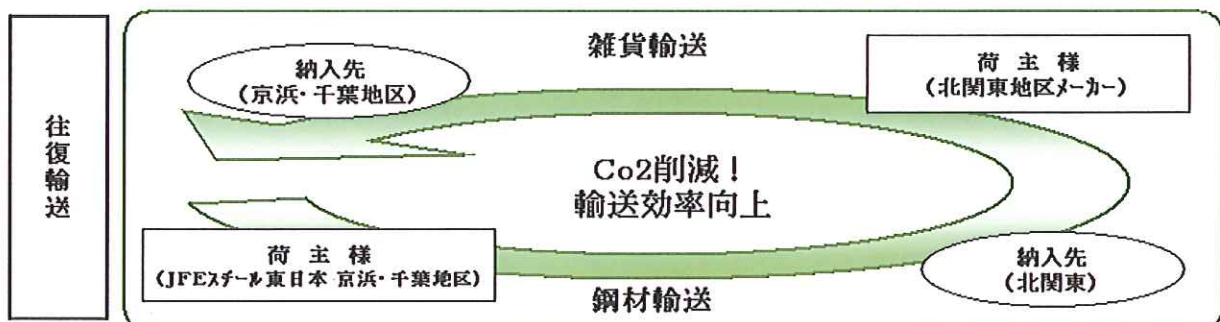
JFE物流株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小俣一夫）は、この度、天井クレーンによる荷役の可能なウィング車「ルーフスライドウィングトレーラ」を導入しました。これにより、幅広いお客様に輸送効率化の提案をし、CO2の排出を削減することが可能となりました。

当社は2008年に株式会社バンテックと共同で鋼材と自動車部品を同一車輦で輸送できる併用车輦を開発・導入し、同社と共同輸送を開始しました。これは車輦の上部と側面を覆う幌を電動で動かすことで、鋼材搬入時には天井クレーンからの垂直荷役を、自動車部品搬入時にはフォークリフトによる水平荷役を可能としたものです。この車輦により、往きは鋼材、帰りは自動車部品の往復実輸送（ラウンド輸送）と、輸送効率化によるCO2の排出を削減してきました。

今回開発した新車輦は、ルーフ（天井）部分が折り畳みながら左右にスライドするもので、天井クレーンで積み降ろしを行うことが可能となったことで従来のウィング車では扱えなかった鋼材も積載可能となりました。底部分が濡れ防止の役割を果たし、金属製ボディというウィング車の特性も合わせ持つ、言わば進化したウィング車です。これにより、往復併用輸送の対象貨物が拡大し、一般消費材や精密機器などの、より品質管理の厳しい貨物の輸送も可能となりました。幌車に比べて荷役時の能率・操作性も格段に向上しました。

新車輦は日本トレクス株式会社（愛知県豊川市）と共同で開発し、車輦導入と運行は当社グループ会社のJ-ロジテック株式会社が行います。現在JFE物流グループでは京浜地区から北関東方面に向けて1日70台を超えるトレーラによる鋼材輸送がありますが、2011年5月下旬から第1号車を運行し、まずはその帰り便として北関東地区から都心へ向けて飲料を輸送します。更に、今後の需要に応じて2号車以降の導入を検討し、対象貨物を拡大して環境にやさしい物流をより多くのお客様に提案してまいります。

物流フローの例



【新規開発車両】

1. 車種 : ルーフスライドウィング架装平床式セミトレーラ (RSW)
2. 最大積載量 : 24 トン
3. 荷台寸法 : 内法長 : 12500mm 内法幅 : 2370mm 内法高 : 2200mm

【CO2 排出削減効果】

約 47 トン/年/台 <参考 : 一般家庭年間排出量の 10 世帯分>

運行時



天井クレーン作業時 (鋼材荷役時)



フォークリフト作業時 (一般消費材荷役時)

